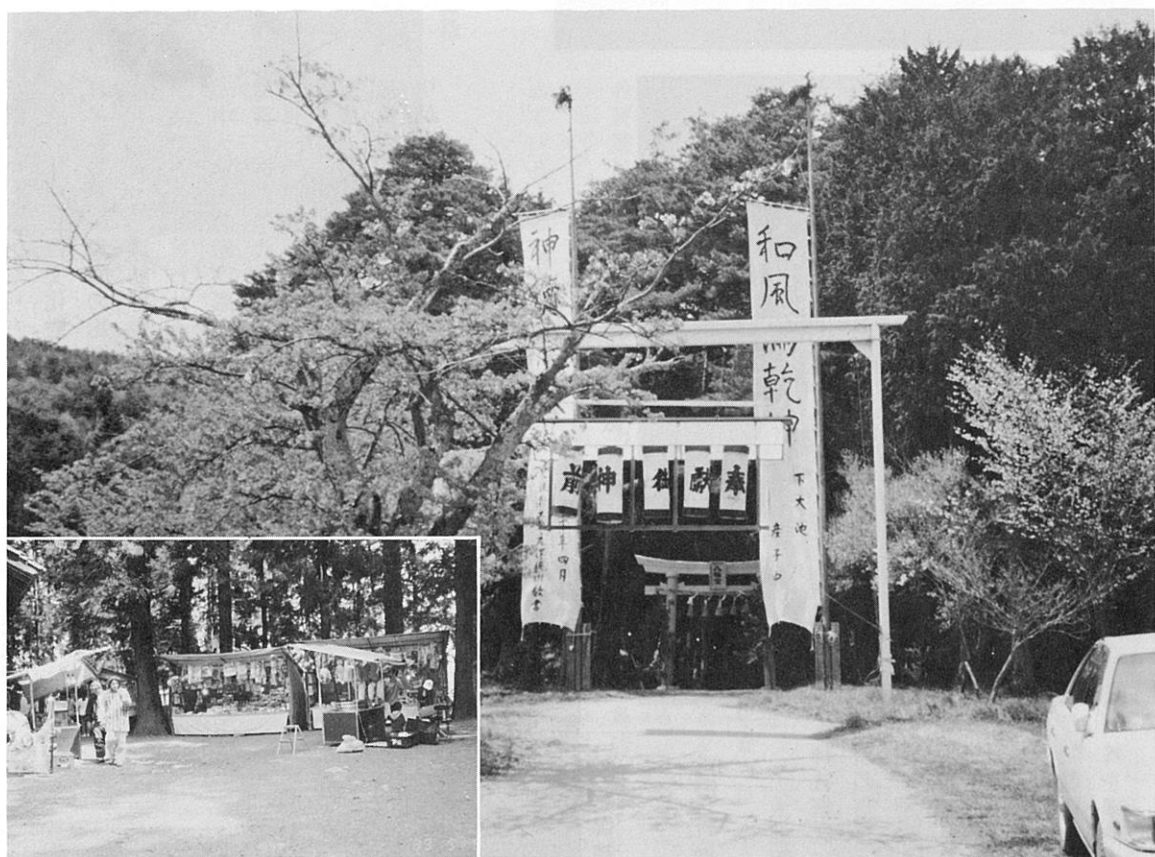


系 車

編集 山形村ふるさと伝承館



下大池八幡社

村 祭 り

清水高原にすすきの穂が揺れる頃、豊作を祝う村祭りが始まる。明治九年の書上書によると山形村は、村社四社、雑社七社の計十一社が書上げられている。豊かな実りを願う豊作を祝う祭りが各区で行われる。下大池八幡社は春祭りであるがあと三社は秋祭りである。御神輿を出し舞殿を曳き奉納して豊作を祝う。

子供の頃小使い銭をもらいすっかり握り出店の前に立つたことが思い出される。

今年も多くの人に参加し思い出を残していくことと思う。

大池諏訪社

大池諏訪社の祭りは、大正四年頃迄七月の農休日に行われていたが、今は十月初旬に秋祭として実施される。上大池中大池は上大池青木沢諏訪社で、祭は年番で行われている。

両区には舞殿がありこれを曳き奉納される。上大池の舞殿及

◀上大池舞殿



び祭はやしは山形村有形民俗文化財、無形民俗文化財に指定されているが、舞殿の彫刻はいずれも立派で、諏訪地方立川流の手法であると言われる。

中大池の舞殿は彫刻が少なく簡素であり年代物との感を秘めていた。しかし老朽化に伴い、平成八年には大改修が行われ豪華絢爛たる新舞殿が誕生し、祭りがより華やかなものになった。

◀中大池舞殿



▶御神楽

おかげ
御神楽

上大池諏訪神社祭典には祭の当日、神前で神楽を舞い奉納される。天下太平、悪魔を祓い、五穀豊稔を祈り舞を奉納する。

清水寺八十八夜例祭

五月二日の八十八夜には清水寺八十八夜例祭が行われる。現在には保存会役員、一般参加者をあわせても百数十名程といくぶん寂しくなったが、昔は一般参加者が里から寺への山道に行列をつくったと言われる。

昔の農家では、桑の手入、農作物の種蒔き等を八十八夜を目標に進出し、祭り当日は豊作祈願の為山道をのぼったという。

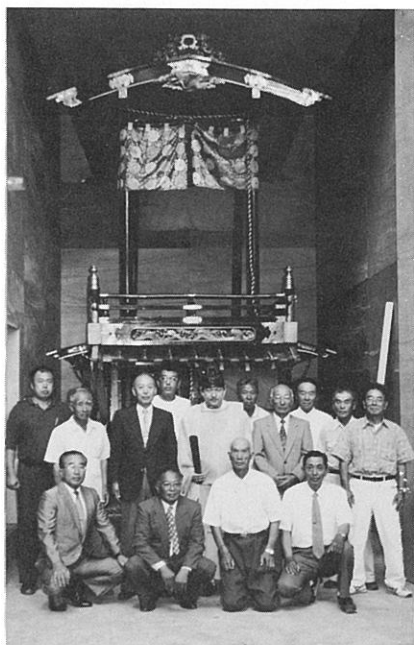
◀清水寺八十八夜例祭の様子



小坂諏訪社の新舞殿

小坂諏訪社の祭りは、明治の頃は六月、大正の中頃から十月に、最近では九月第三土曜日に行われる。舞殿が出て祭青年が主となって大変賑やかに、又浦安の舞を行う様になってからは尚盛大となった。しかし長い事祭りの主役であった舞殿が大変老朽化し新規購入が要望されて、平成七年に塩尻市仲町で新しい舞殿を購入され旧舞殿があるとして、何回も検討して譲渡購入する事になった。神社用地

◀小坂諏訪神社舞殿



内空地に新舞殿庫を建て、平成九年には舞殿神魂入祭舞殿庫竣工祭を行い、この年より新舞殿が尚一層祭りを盛り上げることとなった。なお旧舞殿は波田の三神社の祭りに山車復活として花を添えている。

小坂大日祭り

小坂大日祭りは四月に行い、以前は素人芝居や相撲があり賑やかな祭りであったが、今は区の評議員の人達の手で、わたあめや、ポップコーン等で人を集めている。参道入口の幟は、平

林国民氏の筆により平成七年に新しくなり、祭りに花を添えている。

下大池の子ども御輿

下大池八幡社のお祭りは明治の頃は六月だったが、今は四月に行う。戦前は御神馬を必ず二頭以上出していたが、馬を飼う家もなく昭和五十三年からは子ども御輿が出て、各家々を廻り祭りを盛り上げている。又台風により新しくなった鳥居が子ども御輿を八幡社の前で待っている。

◀小坂大日堂



▲小坂諏訪社 浦安の舞



▲下大池子ども御輿



▶本殿前の五つ灯籠



▶建部神社子ども御輿

建部神社の祭典

建部神社は素盞鳴尊・大己貴命を祀り、上・下竹田の氏神様として竹田山宮沢の地から宝永元年現地に奉遷し現在に至っている。昔は六月二七・八日に夏祭りが行なわれていたと云うが、大正十年頃には十月二七・八日に変更され、最近は九月下旬の土日曜日となっている。

昭和三十年頃までは本郷で四頭、荒井で四頭計八頭の馬が神殿の回りを三周する御神馬の奉納が行なわれていたが、時代と共に農業の機械化が進み農耕馬がなくなり、それによって子供みこしを奉納する様になった。

本祭には青年会による奉納相撲が盛んだったが、青年会の解散後は小学生によって相撲が続いている。

水神社由来

明治三十九年以前竹田地区には唐沢より流れる唐沢川しかなかった。水田を多く造る為に波田町の黒川より水を引いて来る

事を計画し明治前から水路を作りそして開田事業を行い明治三十九年完成した。

それを祭る神社として水神社が設けられた。

◀建部神社奉納相撲風景
(昭和十二年頃の青年会)



◀水神社祭典の様子

